

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

熊本南部森林管理署

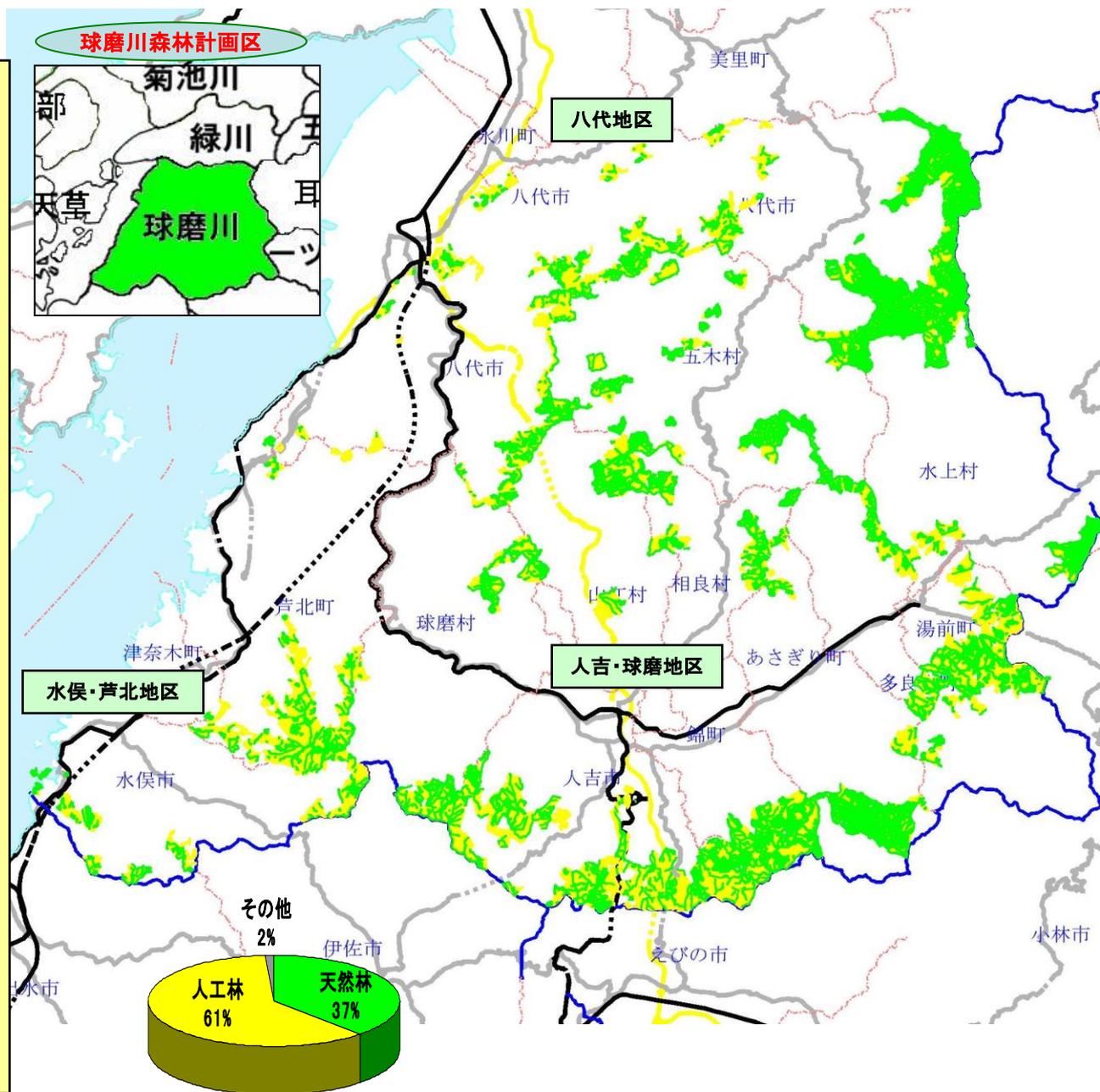
1. 現行計画の概要(平成25年4月1日～30年3月31日)

(1) 森林計画区の概要

・球磨川森林計画の対象は、熊本県南部に位置し、八代市、人吉市、水俣市、八代郡、葦北郡及び球磨郡の3市7町5村から形成される国有林野37,061haです。

・計画区内の山林の内訳は、天然林が37%、人工林が61%、その他2%を占めています。

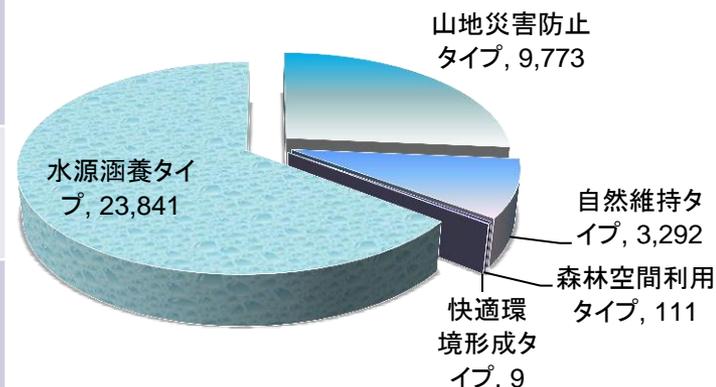
・水源かん養保安林が保安林全体の98%に達し、下流域の八代市、人吉市及び水俣市等の水がめとして重要な役割を担っているほか、スギ・ヒノキの人工造林が盛んで、木材資源の供給能力も高い地域です。また、九州中央山地国定公園に指定されるなど自然景観に優れた地域も多く、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



<機能類型別面積>

公益的機能の維持増進を旨とする方針の下、重点的に発揮させるべき機能によって次の5つの類型に区分し管理経営を行っています。

区 分	面積ha	機 能
山地災害防止タイプ	9773	災害に強い国土基盤を形成する観点から山地災害防止・土壌保全機能を発揮する。
自然維持タイプ	3292	生態系としての森林の重要性を踏まえ、生物多様性保全機能を発揮する。
森林空間利用タイプ	111	国民に憩いと学びの場を提供し豊かな自然環境や歴史的風致を構成するため保健・レクリエーション機能等を発揮する。
快適環境形成タイプ	9	騒音、粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する機能を発揮する。
水源かん養タイプ	23841	良質な水の安定供給を確保する観点から上記のタイプ以外の全ての国有林で水源かん養機能の維持増進を行う。

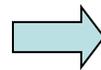
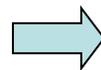


(注)官公造林地549haを除く。

(2) 計画の概要

① 多様な森林づくりの推進

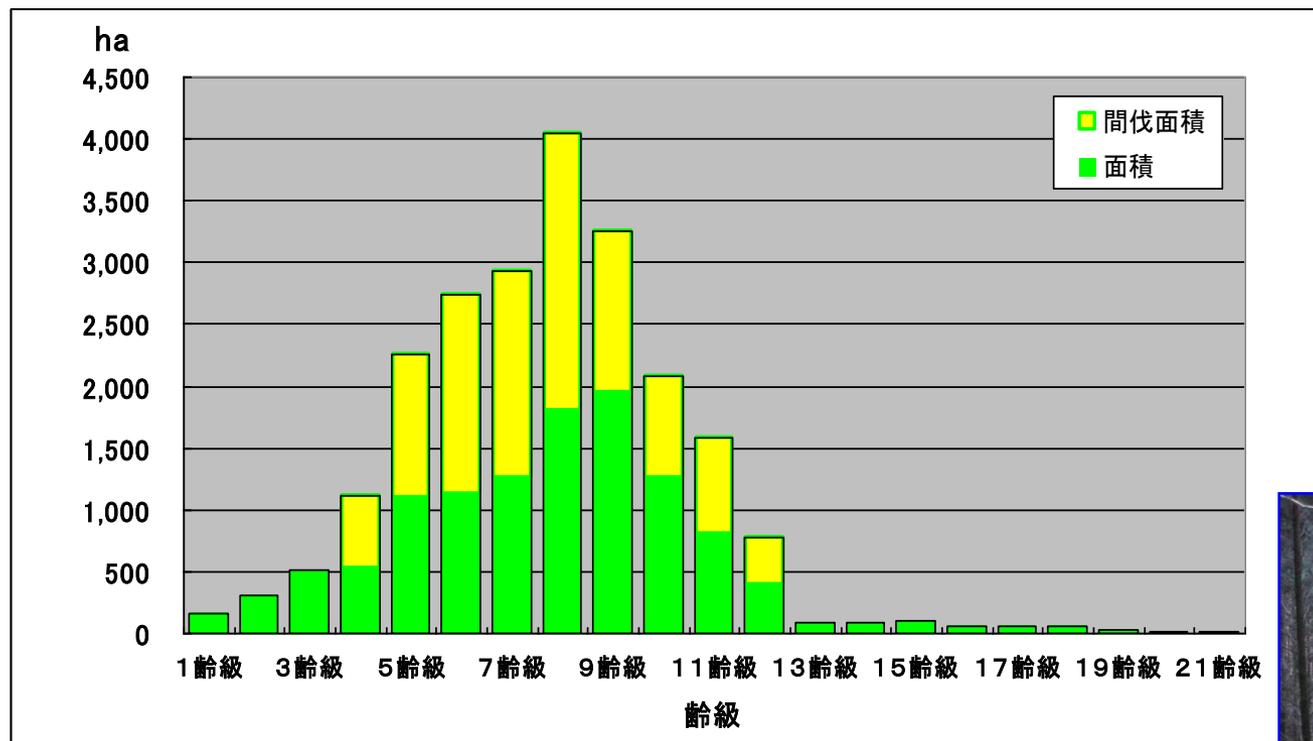
人工林の主体が若齢林であり、また、本計画区の国有林野には公益的機能の高度発揮が求められることから、適切な保育、間伐を進めるとともに、天然稚幼樹の育成による針広混交林化、伐期の延長による長伐期施業への転換を図っています。



② 間伐を通じた地球温暖化防止の推進

本計画区の人造林の面積は約22,119haで、間伐対象となる16年生から60年生の人造林の面積は約20,281ha（人造林面積の92%）です。

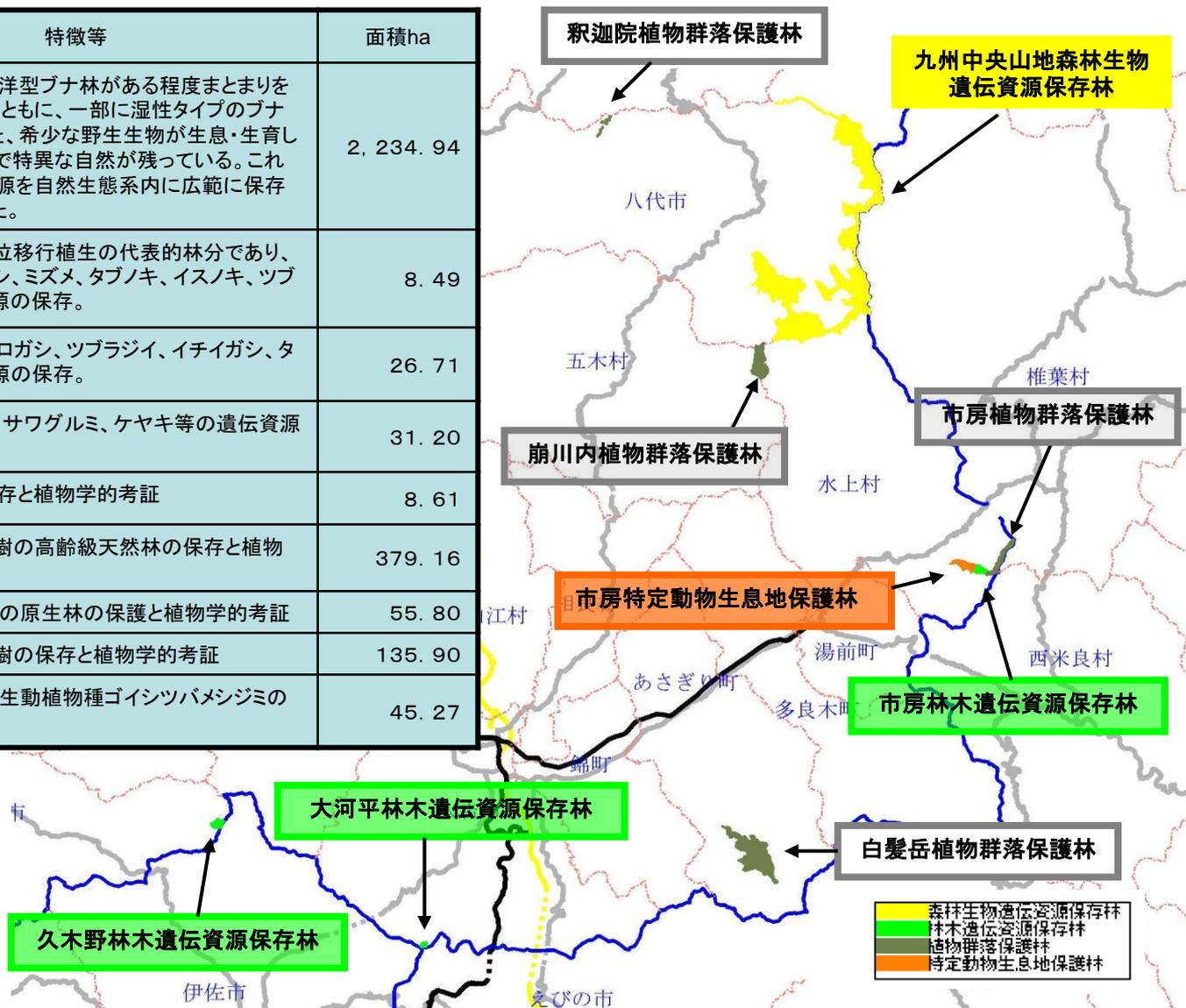
また、現行計画（H25.4～30.3）では間伐を約6,989ha計画しており、地球温暖化防止のためにも間伐を推進しています。



③ 保護林の適切な保全・管理

本計画区には貴重な自然環境としての天然林等が多数存在しており、保護林を設定し適切に保護・保存を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
森林生物遺伝資源保存林	九州中央山地	当地域には太平洋型ブナ林がある程度まとまりをもって分布するとともに、一部に湿性タイプのブナ林が見られ、また、希少な野生生物が生息・生育している等の優良で特異な自然が残っている。これらの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存するため設定した。	2,234.94
林木遺伝資源保存林	大河平	暖帯性上位、下位移行植生の代表的林分であり、モミ、ウラジロガシ、ミズメ、タブノキ、イスノキ、ツブラジイの遺伝資源の保存。	8.49
	久木野	アカガシ、ウラジロガシ、ツブラジイ、イチイガシ、タブノキの遺伝資源の保存。	26.71
	市房	ツガ、ヒメコマツ、サワグルミ、ケヤキ等の遺伝資源の保存。	31.20
植物群落保護林	釈迦院	釈迦院スギの保存と植物学的考証	8.61
	白髪岳	モミ、ツガ、広葉樹の高齢級天然林の保存と植物学的考証	379.16
	市房	市房山山頂周辺の原生林の保護と植物学的考証	55.80
	崩川内	モミ、ツガ、広葉樹の保存と植物学的考証	135.90
特定動物生息地保護林	市房	指定国内希少野生動物種ゴイシツバメシジミの生息地の保護	45.27



④ 国民の森林としての管理経営の推進

森林環境教育の場として国有林野を活用し、自然観察会を開催しています。

<例示>

一般の方々を公募し、自然観察会を実施しています。



本流域内の国有林各地に出掛け、国民の方々が樹木や草花を現地で観察するなど、自然とふれあってもらう活動を定期的に行っています。

希少野生動植物の保護の一環として、観察会を実施しています。



「国の天然記念物」であり、「国内稀少野生動植物種」にも指定されているゴイシツバメシジミの保護を図るため、地元の小学生や自治体、関係者を招き、種の保存についての学習を行う観察会を開催しています。

⑤ 流域管理システムの推進

国有林と民有林の連携をより強化し、より効率的な森林整備を推進します。

<例示>

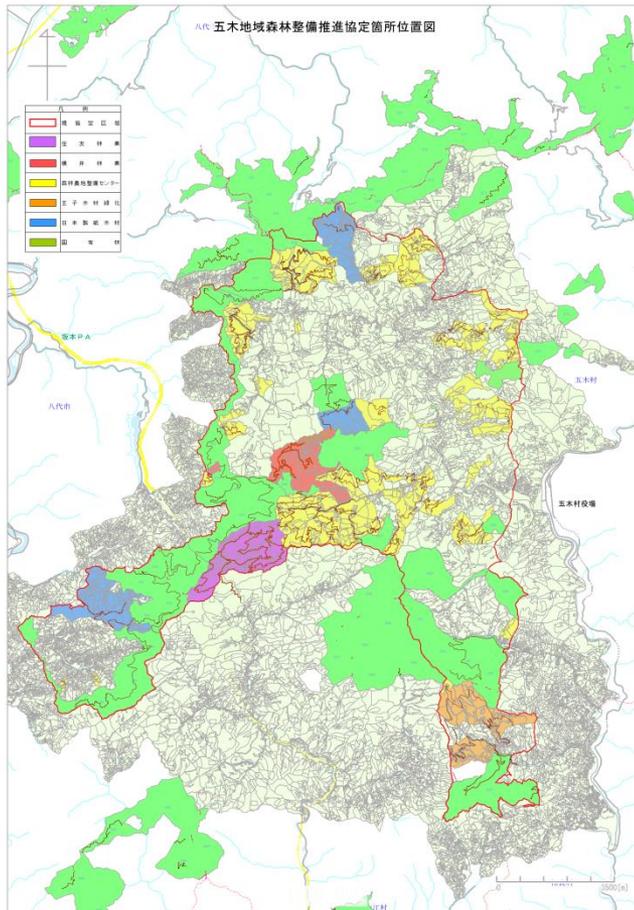
林業技術向上のため現地研修会を実施しています。



国有林内において、林業事業者、県・市町村の林務担当者等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、民有林への技術の普及に取り組んでいます。

<例示>

民有林と協調した効率的な森林整備を推進しています。



民有林と国有林が隣接する熊本県の五木地域とその周辺の森林に「森林共同施業団地」を設定し、協定者が連携して路網整備等を推進し効率的な森林整備に取り組んでいます。

⑥ 低コスト林業の実現と木材の安定供給

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林の整備を行うため、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、森林作業道の整備を推進しています。

⑦ 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

安全・安心の確保に向けた効率的な治山対策に取り組んでいます。



熊本県八代市泉町の縦木地区流域内で発生した山地災害箇所等において、航空実播工による早期復旧工事を実施しています。



コンクリート谷止工の上流部に木材利用拡大を図るための間伐材を利用した丸太残存型枠を施工しています。

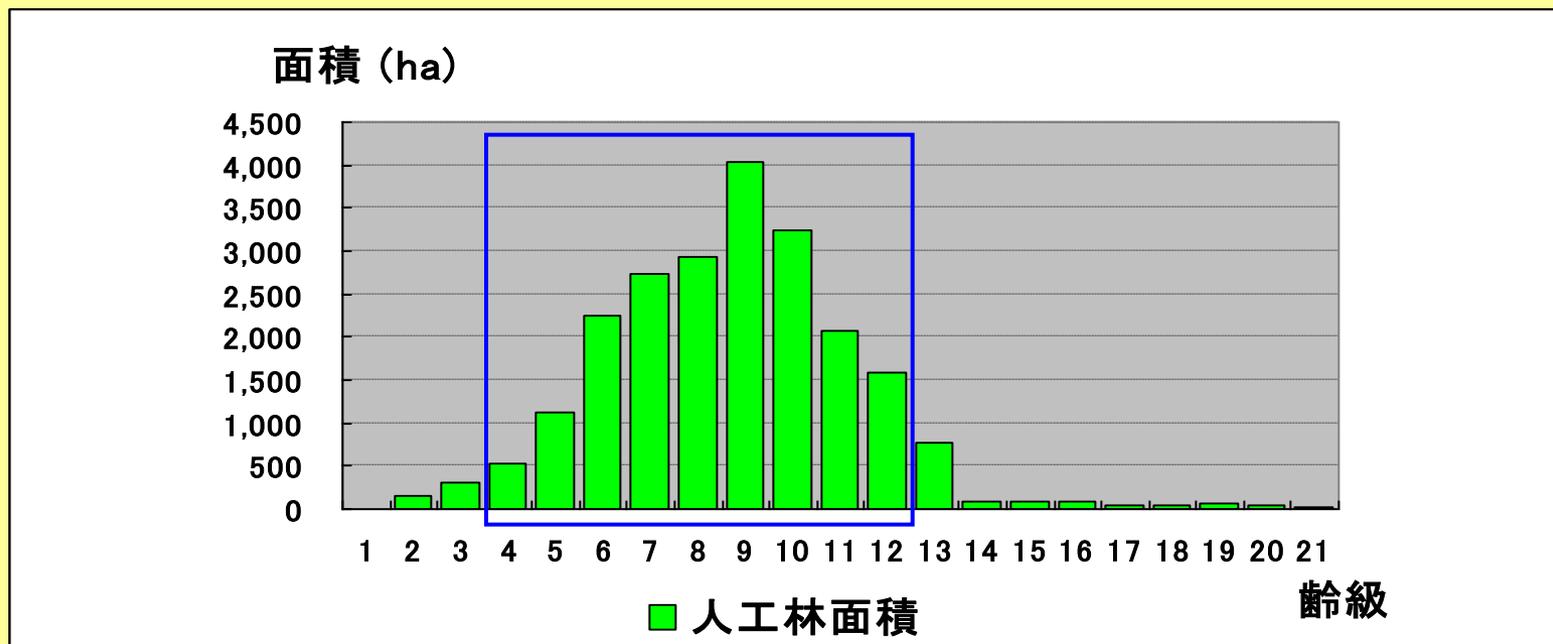
2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

<例示>

・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や生物多様性保全機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。

・次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は、人工林面積全体の93%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも間伐を推進する必要があります。



- ・森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・本計画区には、絶滅のおそれのあるゴイシツバメシジミが生息することから、生息環境の保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用度が低かった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備を推進する方向です。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・絶滅のおそれのあるゴイシツバメシジミが生息する地域は、生物多様性の保全を推進する観点から、当該箇所については生息や繁殖の環境に十分に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「ふれあいの森」制度を活用して、国民参加による森林づくりを推進する方向です。
- ・丈夫で簡易な路網整備を加速化しつつ、低コストで効率的な作業システムの構築に引き続き取り組みつつ、原木の安定供給体制の構築のため、利用度の低い林地残材を含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。
- ・国有林の有するフィールド・技術力を活用したフォレスター等人材育成に取り組む方向です。